

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年11月11日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	福丸建設株式会社
所在地	長崎県佐世保市白岳町 836 番 4
代表者役職・氏名	代表取締役 増田 貴光
担当者連絡先	電話:0956-32-0290
	メール:r_ida@fukumaru-k.com
ウェブサイトURL	https://www.fukumaru-k.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は 1973 年の創業以来、長年に渡り貿易や水産事業で発展する長崎を舞台に海洋土木で社会インフラを支えてきました。中でも、海底の土砂を掘る浚渫工事では、軟らかい土層から急に硬い岩盤層となる長崎の地質で培ったノウハウをベースに特許を取得し、現在では県内外から工事依頼が寄せられています。また、近年は外国からの大型旅客船が接岸できるようにする工事や、大規模なリゾート開発に関する工事など、時代のニーズとともに実績を伸ばしているところです。</p> <p>一方、地球の環境問題に配慮して環境エンジンを導入するなど、ICT をキーワードにデジタル技術を導入することでより安全で精度の高い事業を展開しています。</p>

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	将来を担う若者の就職支援と魅力的な職場づくりの促進	<ul style="list-style-type: none">・高校生向け企業紹介動画の作成と学校への配布 (13 校以上)・各高校に向けての企業説明会 (年 3 回以上)・弊社にて職場見学・体験会 (年 2 回以上)・各高校での社長講話 (年 3 校以上)
□環境 ✓社会 ✓経済	外国人材の活用による産業・地域の活性化	<ul style="list-style-type: none">・優秀な外国人材が当社で安心して就労できる環境を整え、様々な技術を身に付けてもらうことで産業や地域の活性化を図る・外国人材の雇用 6 人以上
✓環境 □社会 □経済	豊かできれいな海づくり、くらしやすい環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none">・長崎県港湾漁港建設業協会と、協力し同協会が主催する清掃活動などの SDGs 達成に向けた取り組みに積極的に参加する (海岸清掃年 2 回以上)・佐世保市が実施している公共施設 (道路) の里親に登録を行い、毎日の清掃に加え市が所有する花壇整備に取り組み、定期的に里親活動報告書を市に提出する (周辺清掃/水遣り…毎日、草刈り…年 2 回以上、花壇の植え替え…年 2 回以上)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・性別や人種などの違いによる業務内容等の差別的待遇を行っていない。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・社員研修においてもハラスメント防止のテーマを取り入れている。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8							16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・従業員に対して営業方針や就業規則を周知徹底し、過度な長時間労働がないかを定期的にチェックしている。									8.5 8.8								
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・安心して就労できるよう、適切な処遇や労働環境の整備、生活環境面における整備を十分に行っている。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・工事現場毎に、定期的に安全パトロールを行い、事故防止に努めている。 ・毎年全社員参加の店社安全衛生大会を実施し安全知識を深めている。			3						8								
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・毎年全社員を対象にセルフケアのさらなる充実化及び働きやすい職場環境の形成を目的として労働安全衛生法に基づいたストレスチェックを実施している。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・外国人労働者の仕事、生活面をサポートするための責任者を配置し労働環境の整備に努めている。 ・女性の活躍を後押しする為の部署を新たに設置した。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・人事考課制度やキャリアアップに基づいて計画的な教育訓練、資格取得のフォローアップ等を実施し、適切な能力開発の機会を提供している。 ・資格手当制度を充実させ、社員の資格取得におけるモチベーション向上に努める。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・給与規定・人事考課に基づき、実績や能力に応じた適正な評価査定を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・健康経営推進企業の認定を受けている。 ・生活習慣病予防検診を100%実施し、必要な社員に関しては保険指導を行う。 ・毎朝ラジオ体操を行い、身体を動かすことによってスムーズな仕事開始を図る。 ・毎朝アルコールチェックや検温を行い、社員の健康チェックを確実に実施している。			3						8								

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・コピー用紙の裏紙を再利用し、資源ごみの分別を徹底して行い、ゴミを減らしている。 ・詰め替え容器に入った製品や簡易包装の製品を選んで使用している。 ・修理や点検等のアフターサービスを充実することにより、製品の長期使用促進に努める。										11.6	12.4 12.5		14.1				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・毎月の電気使用量を把握し、計画的な使用に努めている。							7.3					13					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・営業車両の買い替え時、ハイブリッド車等の低燃費車両を導入している。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・自社が排出する廃棄物や有害化学物質について、廃棄物処理業者委託するなどして適切に処理している。			3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・環境に配慮した材料を使用し、生物多様性保全に配慮するよう努めている。						6.6								15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・自社の水使用量を把握し、問題点があれば早期に発見してロスを減らすように取り組んでいる。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・自社ホームページで環境の取り組みに関する情報を開示すると共に、道路路肩の草刈りや清掃・ゴミ回収の実施報告を佐世保市に提出している。											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・CO2削減の為、社屋屋上と倉庫上にソーラーパネルを設置し、自然環境に優しい事業所を目指している。							7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・有限である天然資源を利用していることを自覚し、無駄遣いや廃棄をできるだけ抑え、リユースやリサイクルなどを行い、効率的に資源を利用できるよう心掛けている。											12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・ICTを積極的に導入して施工の精度を上げることにより、安全性や品質確保の向上に取り組んでいる。			3.9								12.4						
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・資格手当制度の充実により全社員が率先して資格を取得することによって技術力を向上させ、より良いサービスの提供に繋げている。											9						
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・エコマーク認定商品を使用するよう心掛けている。						6					12	13	14	15			

